

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 6 月 10 日 (2021.6.10)

【公開番号】特開 2020-121990 (P2020-121990A)

【公開日】令和 2 年 8 月 13 日 (2020.8.13)

【年通号数】公開・登録公報 2020-032

【出願番号】特願 2020-68670 (P2020-68670)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/353 (2006.01)

A 6 1 K 36/82 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 21/02 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

A 6 1 P 3/06 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 2 3 L 33/10 (2016.01)

A 2 3 L 33/105 (2016.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/353

A 6 1 K 36/82

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 21/02

A 6 1 P 3/04

A 6 1 P 3/06

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 37/04

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 2 3 L 33/10

A 2 3 L 33/105

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 4 月 21 日 (2021.4.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

緑茶抽出物又はカテキンと、柑橘類抽出物又はフラバノン若しくはその配糖体とを含む、組成物であって、

緑茶抽出物又はカテキンが、エピカテキン、エピガロカテキン、エピカテキンガラート、ガロカテキンガラート、エピガロカテキンガラート及びメチル化カテキンからなる群から選ばれる少なくとも 1 種であって 90 重量% ~ 0.001 重量% (但し 0.05 ~ 0.5 重量%を除く) を含み、柑橘類抽出物又はフラバノン若しくはその配糖体が、エリオジ

クチオール、ナリングニン及びヘスペレチン、並びにこれらの配糖体からなる群から選ばれる少なくとも１種であって９０重量％～０．００１重量％（但し０．００１～１．０重量％を除く）を含む、前記組成物。

【請求項２】

抗がん、抗筋萎縮、抗肥満、抗炎症、コレステロール低下、血栓又は脳梗塞予防、免疫増強、抗アレルギー、動脈硬化予防及び６７ｋＤαラミニンレセプター依存的な作用誘導からなる群から選ばれる少なくとも１つ用の、請求項１に記載の組成物。

【請求項３】

緑茶抽出物又はカテキンと、柑橘類抽出物又はフラバノン若しくはその配糖体とを含む、食品組成物であって、

緑茶抽出物又はカテキンが、エピカテキン、エピガロカテキン、エピカテキンガラート、ガロカテキンガラート、エピガロカテキンガラート及びメチル化カテキンからなる群から選ばれる少なくとも１種であって９０重量％～０．００１重量％（但し０．０５～０．５重量％を除く）を含み、柑橘類抽出物又はフラバノン若しくはその配糖体が、エリオジクチオール、ナリングニン及びヘスペレチン、並びにこれらの配糖体からなる群から選ばれる少なくとも１種であって９０重量％～０．００１重量％（但し０．００１～１．０重量％を除く）を含む、前記組成物。

【請求項４】

抗がん、抗筋萎縮、抗肥満、抗炎症、コレステロール低下、血栓又は脳梗塞予防、免疫増強、抗アレルギー、動脈硬化予防及び６７ｋＤαラミニンレセプター依存的な作用誘導からなる群から選ばれる少なくとも１つ用の、請求項３に記載の組成物。

【請求項５】

前記緑茶抽出物又はカテキンは、ヒトの等価用量として０．４ｍｇ／ｋｇ～３２．４ｍｇ／ｋｇで摂取され、かつ、前記柑橘類抽出物又はフラバノン若しくはその配糖体は、ヒトの等価用量として０．４ｍｇ／ｋｇ～７．２９ｍｇ／ｋｇで摂取される、請求項３又は４に記載の組成物。

【請求項６】

請求項１～５のいずれか１項に記載の組成物を含む、機能性食品。

【請求項７】

緑茶抽出物又はカテキンと、柑橘類抽出物又はフラバノン若しくはその配糖体とを含む、抗がん剤、抗筋萎縮剤、抗肥満剤、抗炎症剤、コレステロール低下剤、血栓又は脳梗塞予防剤、免疫増強剤、抗アレルギー剤、動脈硬化予防剤及び６７ｋＤαラミニンレセプター依存的な作用誘導剤からなる群から選ばれるいずれかの剤であって、

緑茶抽出物又はカテキンが、エピカテキン、エピガロカテキン、エピカテキンガラート、ガロカテキンガラート、エピガロカテキンガラート及びメチル化カテキンからなる群から選ばれる少なくとも１種であって９０重量％～０．００１重量％（但し０．０５～０．５重量％を除く）を含み、柑橘類抽出物又はフラバノン若しくはその配糖体が、エリオジクチオール、ナリングニン及びヘスペレチン、並びにこれらの配糖体からなる群から選ばれる少なくとも１種であって９０重量％～０．００１重量％（但し０．００１～１．０重量％を除く）を含む、前記剤。

【請求項８】

前記緑茶抽出物又はカテキンは、ヒトの等価用量として０．４ｍｇ／ｋｇ～３２．４ｍｇ／ｋｇで摂取され、かつ、前記柑橘類抽出物又はフラバノン若しくはその配糖体は、ヒトの等価用量として０．４ｍｇ／ｋｇ～７．２９ｍｇ／ｋｇで摂取される、請求項７に記載の剤。